

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		教育委員会専用バス管理及び借上事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000183
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201		学校教育の充実				課長名	学校教育課
	政策名	02		生きがいを育む学びのまちづくり				グループ	総務グループ
	施策名	01		学校教育の充実				担当者名	
	手段名	02		②教育体制の充実					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	02	00	事務局事業		
法令根拠						桜川市教育委員会専用バス使用要項			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>教育委員会に専用バスを配置し、主に市内の公立学校が実施する校外学習活動等に際し、活用している。運行業務については、運行業者と契約し事業を行っている。</p> <p>また、各学校の校外学習活動において、民間バスの借り上げてたものに対し、賃借料の支払い等の事務を行う。</p> <p>事業費の内訳は、専用バス運行委託料と民間バス賃借料となる。</p> <p>※教育委員会の専用バスは、合併時に保有していた市バス3台のうち1台を教育委員会専用バスと位置付けし、利用を始めた。</p>		<p>学校が行事等日程に基づき庁内情報システムから教育委員会専用バスを仮予約後、一か月前までに使用申請書を提出し許可を得る。一か月単位の運行予定表を作成し運行業者との調整。</p> <p>学校と運行業者との詳細行程を確認後、行事完了。</p> <p>委員会バスの不具合箇所等を行事のない期間で修理依頼など。</p> <p>一か月の運行実績により運行委託費支払。</p> <p>各学校が民間バスを借上げた場合の支払い事務を行う。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
学校が行事等日程に基づき庁内情報システムから教育委員会専用バスを仮予約後、一か月前までに使用申請書を提出し許可を得る。一か月単位の運行予定表を作成し運行業者との調整。		専用バス使用許可件数		件	115.00	39.00	100.00	100.00	100.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市内小中学校		小中学校数		校	14.00	14.00	13.00	13.00	13.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
専用バスの利用することで、児童生徒の課外研修等がしやすくなる		学校使用回数		回	100.00	38.00	100.00	100.00	100.00
		民間バス利用回数		回	20.00	39.00	80.00	80.00	80.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移					01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,797	1,849	1,849	0
			事業費計 (A)	千円	1,797	1,849	1,849	0
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
	12 委託料	1,849			12 委託料	1,849		
			合計	1,849		合計	1,849	

事務事業名	教育委員会専用バス管理及び借上事務	事務事業No.	20102000183	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 財政課管理の市有バスのうち排気ガス対策を実施していない旧大和村のバスを、排気ガス規制区域等への行程がほぼない学校使用専用とし、平成19年度より教育委員会管理となった。平成29年度に故障により当初のバスは廃棄になったが、現在は、大和庁舎バスを教育バス専用として使用している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ バスの効率的な利用が求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教育委員会専用バスを有効に利用することで、児童生徒の校外学習等がしやすくなることは、教育体制の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒が使用する教育専用バスを管理することは、市の教育委員会が負担することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 学校間が利用調整をする機会を得れば日程の重複が避けられ、より多くの学校が利用できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教育委員会専用バスは学校の費用負担はなく、民間バスを利用した場合の使用料がそのまま学校の支出となることから、校外学習等の行事が制限される。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名   市バス維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる バスの管理について、利用(予約)状況においては、市バスについても利用していく。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 専用バスだけでは各学校の校外学習を賄えない。民間バスの利用は致し方ない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 専用バスは各学校で校外学習等を行う際に使用している。校外学習等で使う際には受益者負担はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	民間のバスを借り上げるより、教育バスを利用の方がコストを抑えることができるため、学校の校外学習や部活の公式戦等で積極的に教育用バスを使用し、市全体の支出の削減につながった。部活の公式戦でのバスの使用については、効率的にバスを配置できるように仕組みを考えることが必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 よりコストを抑えるためには財政課で管理している庁用バスも積極的に使うことが望ましいが、庁用バスは乗車人数20人以上でないと認められない。児童生徒の人数が減少傾向にあるため、部活等でも20人の乗車人数を確保できず庁用バスが使えずに民間バスを借り上げざるを得ない状況である。庁用バスを人数制限せずに使えるようになると、よりコストが抑えられるのではないかと思います。また、教育用バス・庁用バスの割振りで学校教育課職員・教員ともに手間と時間がかかるので、スムーズに手が配ることができるよう仕組みをつくるのが望ましい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認